



久田 莉緒ちゃん ②
H20.2.15 生 (神崎 福吉団地)



佐藤 花ちゃん ②
H20.2.12 生 (赤池 昭和町)



和田 紫織ちゃん ①
H21.2.18 生 (金田 宝見)



成定 寛太くん ①
H21.2.17 生 (赤池 赤池NT)



古賀 愛斗くん ①
H21.2.12 生 (伊方 新門)



堤 結愛奈ちゃん ①
H21.2.6 生 (赤池 伏原団地)

保護者や仲間の声援を受け、錬心館拳士が各大会で活躍

→すべの技の連続で栄光を勝ち取りました



12月23日に大野城市で開催された「実践空手道選手権大会」で、錬心館の2人がそれぞれ優勝し、年の締めくくりには有終の美を飾りました。【小4女子の部】手島 楓月さん【小5女子の部】井手本 珠愁さん
また11月15日に宗像市で開催された「不退换杯ジュニアフルコンタクト空手道選手権大会」では、次の2人が敢闘賞に輝きました。【小1男子の部】浦田 弦祈くん【小4男子の部】中村 龍太郎くん
生徒随時募集中！ 初心クラス ▶ 練習場所：福智町武道館(金田駅裏)
▶ 日時：☎・☎の18:00~19:30 ※選手クラスは日時が一部異なります。見学、体験入門OK！くわしくは練習日に武道館までお越しください。



松永 弥央ちゃん ③
H19.2.1 生 (弁城 草場)



田丸 和々泉ちゃん ③
H19.2.1 生 (伊方 東古門)



井上 蓮太郎くん ②
H20.2.19 生 (神崎 星ヶ丘団地)



黒土 日和ちゃん ②
H20.2.18 生 (上野 高見台)



久富 天寶くん ②
H20.2.17 生 (弁城 久六団地)

励まし合い完走した弁城小マラソン大会

→力強く地面をけつてスタート



1月22日に弁城小で恒例のマラソン大会が開かれ、近所のかたや保護者が見守るなか、2学年ごとにそれぞれ1.2キロ、1.6キロ、2キロを走りました。毎日継続している“5分間走”の成果を存分に発揮して、学校周辺を勢いよく駆け抜けた児童たち。息を切らせて完走したあとも、他学年にあたたかい声援を送る姿が印象的でした。

笑顔募集中！
誕生日の記念に、お子さんの笑顔を紙面に飾ってみませんか。締め切りは誕生日の前月10日ごろ。今月は3月に誕生日を迎える満1歳から3歳までのお子さんの写真を募集します。
2月10日 迄までにお電話ください。(締切厳守)
▶ 役場企画課広報担当 ☎22-7766



西村 智也くん ③
H19.2.27 生 (金田 成竹団地)



平島 葵ちゃん ③
H19.2.26 生 (金田 上金田)



宗 泰輝くん ③
H19.2.16 生 (赤池 板屋団地)



奈須 絢斗くん ③
H19.2.9 生 (赤池 生力NT)



野本 聖織くん ③
H19.2.3 生 (金田 亀ノ甲団地)

地域を美化して学校・福祉に寄付

→にこやかな贈呈式の様子



ボランティア団体福智町幸の会(山北強会長)が、古紙回収などで得た益金20万円を町教育委員会と町社会福祉協議会に寄付しました。毎月第4日曜日を「環境の日」と定めて実施している美化活動も今年で7年目。12月25日に行われた贈呈式で会員代表の高木幸幸さん(写真右)から、各関係者にそれぞれ10万円が手渡されました。

現代メディアとのかかわり方を注意

→意見が飛び交った34年生



「NPO 法人子どもとメディア」の公式インストラクター 秋葉祐三子さんによる講話が、上野小の3~6年生を対象として12月16日に行われました。ゲームやインターネットに没頭しがちな冬休み前に、ゲーム中毒やネット犯罪の危険性、友達や家族との会話の大切さなどを分かりやすく説明し、児童自らの正しい判断力を求めました。

野島塾、極寒の滝で身心の鍛錬に励む

→落差25mの白糸の滝を背に



吐く息も白く厳しい寒さとなった1月10日に、日本空手道野島塾が冬恒例の寒稽古を行いました。道場から上野峡の「白糸の滝」までおよそ4キロを走ったあと、気合いの掛け声を響かせながら力強い突きを繰り返した門下生約40人。滝つぼに入水した拳士たちは刺すような冷たさに気を引き締め直し、今後の稽古につなげたようです。

光と音で魅了したブラックシアター

→演目「ジャン・バプティスト」



金田小PTAの図書委員会14人が、12月に金田小と伊方小各校の全児童を対象として、ブラックシアターを披露しました。劇のイラストはすべて委員が8月から手作りで準備したという力作。当日は朗読のほか三味線や木魚、廃材などを駆使した10種類ほどの音色がその場で繰り広げられ、子どもたちの目と耳を楽しませていました。

鼓動を響かせた田川郡子どものつどい

→参加者全員が和太鼓を体験



郡子連主催の「田川郡子どものつどい」が、12月13日に赤池支所ホールで開かれました。郡内5町村の子ども会から約100人が参加し「方城和太鼓クラブ」の手ほどきで、子どもたちが心を一つに太鼓の響きを体感。当日は功労者表彰も行われ、福智町から子育て連の中島信之副会長と上金田子ども会の堀田一郎会長が表彰されました。

来訪者の心とます児童の絵画

→力強い作品がそろいました



田川市美術館で開かれた「MOA美術館田川児童作品展」に、田川市郡小学校から1003点が入選し、福智町からは44点が入選しました。画用紙いっぱい子どもたちの個性が表現された入選作品は、1月4日から29日まで赤池支所ロビーに展示されました。期間限定の小さな美術館は、子どもたちの名作で彩られていました。

人見青年部が小さな真心のプレゼント

→感謝の笑顔に癒されました



12月13日に金田人見青年部の呼びかけにより、青年部OBや婦人部も手伝って集会所で「もちつき」が行われました。これは地域の65歳以上のかたにおいしいおもちを食べていただくこと、代々受け継がれている恒例行事です。今年も100人のお年寄りに青年部からおもちが手渡され、地域のつながりがより深まったようでした。

町文連が手づくり商品収益金を町に寄付

→浦田町長に手渡す渡会会長



福智町文化連盟から旧赤池町のハッピーをリフォームして販売した収益金3万1100円が町に寄付されました。「このままではもったいない」と、会員が1着のハッピーからエプロンを袋を作成。計63セットを仕立てました。11月に開催した町民文化祭会場販売したところ2日間で完売し、好評を集めました。